

藤沢記者クラブ各位

子ども向けプログラミング講座における電子メールの誤送信について

このたび、藤沢市及び公益財団法人湘南産業振興財団が実施する「第3回ふじさわプログラミングコンテスト参加者へ向けた短期集中講座」の運営におきまして、同法人が参加者の保護者へご案内メールを送信する際に「Bcc」で送信するべきところを誤って「To」で送信し、メールアドレスが送信した方々に流出したことが判明しました。

今回の件で、ご迷惑をおかけした皆様に心から深くお詫び申し上げます。また、今後このような事態が発生しないよう同法人に対して、情報の適切な管理を徹底させ、再発防止に努めてまいります。

1. 事案発生日時

2026年（令和8年）7月10日（金）午後8時50分頃

2. 概要

同法人が7月20日（月）から開始する講座（第2クール）のご案内をするため、参加者の保護者へメールを送信の際、「Bcc」で送信すべきところ、「To」にて送信したことにより、メールアドレスを他の方々へ流出させてしまいました。翌日、別の職員が確認した際に、メール送信方法に誤りがあったことが判明しました。

3. 流出した個人情報の内容

参加者の保護者23人（低学年コース14人、高学年・中学生コース9人）個々のメールアドレス

※メールアドレス以外の個人情報は含まれておりません

4. 事実経過

7月10日（金）午後8時50分頃 同法人から参加者の保護者に電子メールを送信

7月11日（土）午前9時40分頃 送信者以外の担当職員がメールを確認し発覚

5. 事後の対応

メールアドレスが流出した参加者の保護者には、7月11日（土）午前10時頃に、同法人からメールにて経過を説明の上お詫びし、メールの削除を依頼しました。また、併せて7月12日（日）に参加者の保護者に電話連絡をしています。なお、現在のところ、二次被害等の報告は受けていません。

6. 今後の再発防止対策について

再発防止に向けて同法人から個人情報の適正な取り扱いを徹底する旨の報告を受けており、その実施について藤沢市としても強く要請してまいります。

以 上

【この資料に関する問い合わせ先】
藤沢市役所 市長室 共創推進課
内 線：＊５５９１
担 当：東
直 通：０４６６（５０）８２６１